

施策 8 生涯学習活動の推進

指標 1	【項目】 新規の公民館事業の講座数				【説明】 新規に企画した公民館事業の講座数					
	単位	現在値 (R1)	実 績 値						進捗 結果	目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	事業	12	11	36	32	43	42	38		18
	担当課評価									
【担当課】 中央公民館	・ 現在値と比較して実績値を改善することができ、目標を達成できました。 ・ 青少年対象9事業、子育て対象9事業、高齢者対象1事業、成人対象19事業を実施することができました。 ・ 第三次計画の期間においては、各事業の進捗状況を検証し、目標達成に向けた着実な取組を推進しました。 ・ 第四次計画の期間においても引き続き、住民ニーズを捉え、事業の改善を図りながら新規に企画ができるよう努めます。									

指標 2	【項目】 公民館講座新規参加者の割合				【説明】 公民館講座に初めて参加した者の割合					
	単位	現在値 (R1)	実 績 値						進捗 結果	目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	%	—	—	—	6.5	9.4	8.1	6.9		10.0
	担当課評価									
【担当課】 中央公民館	・ 令和4年度と比較して実績値を改善することができ、目標をおおむね達成できました。 ・ 第三次計画の期間においては、住民ニーズを的確に把握するため、講座終了後のアンケート調査を積極的に活用しました。 ・ 第四次計画の期間においても講座終了後のアンケート調査を積極的に活用するとともに、地域団体との連携や公益団体、NPO、企業などと協働し、住民ニーズをよりの確に捉えられるよう事業の改善に努めます。									

指標 3	【項目】 デジタルアーカイブの公開件数				【説明】 市立図書館が所蔵する郷土資料を、ホームページ上で自由に閲覧できるようにするため、デジタル化し公開した件数					
	単位	現在値 (R1)	実 績 値						進捗 結果	目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	件	8	11	16	20	24	27	30		30
	評価理由									
【担当課】 中央図書館	・ 計画に基づいて事業を推進することができ、目標を達成できました。 ・ 第三次計画の期間においては、郷土資料を撮影し、著作権等を確認して図書館ホームページに公開することで、市民が郷土資料を閲覧・利用する機会を広げることができました。 ・ 第四次計画の期間においても、歴史と伝統がある川越の地域資料の収集、整理、保存に努めるとともに、これらを活用しデジタルアーカイブの充実に努めます。									

指標 4	【項目】 小・中学生の図書館利用率				【説明】 小・中学生の人口に対する実利用者数（当該年度中に1回以上の資料貸出者）の割合					
	単位	現在値 (R1)	実 績 値						進捗 結果	目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	%	23.2	13.6	17.6	17.1	17.1	16.1	15.3		30.0
	担当課評価									
【担当課】 中央図書館	・ 目標をおおむね達成できましたが、現在値と比較して実績値が低下してしまったため取組を改善する必要があります。 ・ 第三次計画の期間においては、令和7年度は中学生を対象とした市内他課の事業に合わせた連携展示や、小学校低学年の児童が保護者と一緒に参加できる事業に取り組みました。 ・ 第四次計画の期間においても、引き続き小・中学生の図書館利用のきっかけとなる、読み聞かせや本を紹介する事業など、図書館事業協力員と連携し、取り組みます。									

施策 8 生涯学習活動の推進

指標5	【項目】 展覧会での館蔵資料の公開点数				【説明】 展覧会で公開した館蔵資料の点数					
	単位	現在値 (R1)	実 績 値						進捗 結果	目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	点/年	82	339	250	228	515	182	120		100
	担当課評価									
【担当課】 博物館	・ 現在値と比較して実績値を改善することができ、目標を達成できました。 ・ 令和7年度公開点数は展覧会の回数を1回減らしたため、令和6年度よりも減少しています。 ・ 第三次計画の期間においては、館蔵資料の公開・活用を増やすことで地域の魅力を伝えていくことができましたが、展示のテーマによっては公開点数そのものが少ない場合もあり、実績値にはばらつきが出ました。 ・ 第四次計画の期間においても、広く地域の魅力を伝えていくため館蔵資料を活用した学びやすい展示方法を検討していくとともに、博物館の展示への関心や理解の向上に努めます。									

指標6	【項目】 博物館講座・教室受講満足度				【説明】 受講者アンケートにおいて「大変良かった」「良かった」と回答のあった割合					
	単位	現在値 (R1)	実 績 値						進捗 結果	目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	%	97.0	97.3	100	100	96.7	94.5	95.1		100
	担当課評価									
【担当課】 博物館	・ 目標をほぼ達成できましたが、現在値と比較して実績値が低下してしまったため取組を改善する必要があります。 ・ 第三次計画の期間においては、講座・教室の参加申し込みを電話から電子申請に変えることにより、満足度自体は高い水準を保っていますが3年連続で減少しているため、講座・教室の内容についても改善する必要があります。 ・ 第四次計画の期間においては、講座・教室等の参加者数を増加させるため、開催時期や定員規模、配布資料等について改善を重ね、より多くの市民が参加し、満足していただけるよう努めます。									

施策 8 生涯学習活動の推進		総合評価
		A
総合評価について	第三次川越市教育振興基本計画に基づいて、各事業を推進することができました。 第三次計画の期間においては、生涯学習活動の推進に向け、生涯学習活動の拠点となる公民館、図書館、博物館の充実などに取り組みました。 公民館については、既存施設の修繕や設備の更新、ライフステージにおける課題や現代的課題に対応した講座、講演会、展示会等の実施、公民館を活用した子どもの居場所づくりの提供などを推進してきました。 図書館については、様々な世代の知的欲求に応えられるよう、蔵書の充実に努め、電子書籍の充実、デジタルアーカイブの公開、企画展示や講座等を実施してきました。また、各学校図書館との連携を図り、こどもの読書活動の推進に努めてきました。 博物館については、常設展示の充実、魅力的・効果的な企画展や講座などの実施により地域の歴史や伝統文化を学ぶ機会の充実に努めるとともに、学校教育と連携した郷土学習などを推進してきました。また、老朽化した施設設備等の改修を行い、市民及び観光客の利用機会の向上を図るとともに、蔵造り資料館の耐震化に着手し、文化財の保存と来館者の安全確保に努めてきました。 今後も地域住民、団体等との連携強化を図るとともに、老朽化が進む施設設備の改修を計画的に進めながら多様化する市民ニーズ及び社会の変化に対応した施設の在り方を検討していくことが求められています。また、各施設が実施する事業に興味・関心を持ってもらえるよう、事業内容の充実を図るとともに、SNSや市ホームページを活用した情報発信の検討、デジタル化資料の提供等を進める必要があります。 第四次計画の期間においても、引き続き生涯学習活動の推進に向けた取組を実施していきます。	
学識経験者等意見	・ 公民館については、利用者の高齢化、講座継続の難しさが顕在化してきており、公民館の在り方を考え直す時期がきていると思う。 ・ 公民館を居場所として利用している子どもたちの中には、特に低学年を中心に、他に行き場がない子が一定数いると感じている。教育とまではいかなくとも、こどもの成長につながる・役に立つ施設となれるよう、今後の公民館の在り方を検討していくことが大切である。 ・ 生涯学習は、誰もがもっと気軽に参加できるものであってほしいと考えている。川越市に限らず、近年の公民館は立派になりすぎていると感じており、高齢者や子ども等にとって、気軽に立ち寄れて、安心して過ごせる場所であることが求められていると思う。 ・ 公民館まつりや公開講座などが、新たな施設利用者の増加につながっていないと感じている。今後は、地域のデイサービスや介護施設などとオンラインで連携し、講座を実施するなど、地域における社会教育事業の実施主体としての役割をより果たせるような新たな取組を増やすことも検討してもらいたい。 ・ これまで生涯学習は施設を中心に行われてきたが、今後はデジタル化が一層進むことが見込まれ、学びの方法もより多様化していくと考えられる。そのため、社会教育施設の役割や在り方を見直していく必要がある。デジタルでは代替できない、施設特有の「ここでしかできない学びがある」という視点を持って推進していくことが大切だと思う。 ・ 公民館の整備に当たっては、地域住民の意見をしっかりと聞き、整備事業に反映してもらいたい。	

【施策】 8 生涯学習活動の推進
【施策の柱】 (1)市立公民館の充実

細 施 策	①ライフステージにおける課題や現代的課題の学習	担当課	関連指標
		中央公民館	指標1
施 策 の 内 容	・健康や環境、防災、多文化共生、情報革新といった社会情勢に応じて変化する課題に対応した講座等を開催し、地域の特色と社会の要請に応じた学習機会を提供します。 ・SDGsを公民館においても地域とともに取り組んでいけるよう、課題解決に対応した講座を実施します。 ・川越の自然、歴史、文化、環境などを学び、地域に対する関心を高めるため、地域学習事業を推進します。		
令和7年度の主な実績	・ライフステージにおける課題や現代的課題の学習の事業 283事業実施 延べ参加者数 27,187名		
現 状 ・ 課 題	現状 ・実施した事業は令和6年度の291事業から8事業減少しましたが、延べ参加人数は1,142人増加しました。青少年に体験活動などの機会を提供し、子育てサロンの開催や高齢者向けのスマホ講座など、学習ニーズに応じた事業を実施しました。 課題 ・公民館講座の参加者は高齢化や固定化が進んでいます。今後も住民のニーズを的確に捉え、現役世代や新規参加者の増加を図ることが必要です。また、オンライン学習やSNSでの情報発信など多様化するツールへの対応も課題となっています。		
今後について	・第三次計画の期間においては、様々な世代がより参加しやすい環境を整えるため、事業実施に当たり電子申請による申込、抽選方式の採用、土日の開催などの改善を図りました。 ・第四次計画の期間においても、引き続きより参加しやすい環境を整えるための取組を実施するとともに、オンライン学習やSNSでの情報発信などの充実に努めます。また、住民の学習ニーズに応えるため、公益団体やNPO、企業などと協働して学習機会を提供します。		

細 施 策	②生涯学習活動の拠点としての公民館の運営	担当課	関連指標
		中央公民館	指標2
施 策 の 内 容	・公民館運営協力委員会を開催し、情報提供等を行って意見を聴取し、市民へのきめ細かな学習機会の提供に生かします。 ・公民館職員の研修を実施し、社会教育活動指導者としての意識向上及び学習事業の主催者やコーディネーターとしての技術向上を図ります。 ・公民館事業の実施状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表していきます。		
令和7年度の主な実績	・公民館運営審議会 4回 ・公民館運営協力委員会 28回（14委員会） ・公民館職員研修 初任者研修 1回、公共予約システムの操作方法研修 1回 ・事業の実施状況の公表 令和6年度公民館事業記録を作成し、公表		
現 状 ・ 課 題	現状 ・公民館勤務年数が3年以下の職員に対して、初任者研修として公民館の事業と施設貸与に関する関係法令等の研修と公民館を取り巻く課題改善研修を行っています。 課題 ・全公民館職員に対して適切な研修内容や方法を選定する必要があります。特に現代的な課題（DX対応等）に合致したプログラムの設定や講師の選定が課題となっています。		
今後について	・第三次計画の期間においては、公民館運営審議会や各公民館運営協力委員会からの意見を生かした公民館事業を実施しました。また、全公民館職員を対象に初任者研修のほか課題改善の研修を行いました。 ・第四次計画の期間においても、引き続き、公民館運営審議会や各公民館運営協力委員会からの意見や提言を基に利用者のニーズを捉えた事業の企画を行っています。また、全公民館職員を対象に初任者研修と公民館を取り巻く課題改善の研修を実施していきます。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進
 【施策の柱】 (1)市立公民館の充実

細 施 策	③公民館を活用した子どもの居場所づくりの推進	担当課	関連指標
		中央公民館	指標1
施 策 の 内 容	・ 行政と地域の団体や住民等が連携・協働し、放課後、子どもたちが勉強やスポーツ、文化活動を行える居場所づくりを推進します。		
令和7年度の 主 な 実 績	・ 空き部屋を活用した自主学習の場づくりのための取組 4公民館 延べ参加者数2,837名		
現 状 ・ 課 題	現状		
	・ 地域の実情に応じて、4公民館で空き部屋を活用し実施しております。令和7年度には2公民館で図書コーナーや施設のロビーを自習室として使えるよう環境を整えました。		
今 後 に つ い て	課題		
	・ 空き部屋を活用した自主学習の場づくりは公民館の使用率にも影響されることから施設の使用率の高い施設では取り組みづらい状況です。また、取組を進めるに当たり、子どもの居場所を開設する際の安全管理も大きな課題となっています。		
今 後 に つ い て	・ 第三次計画の期間においては、公民館を活用した子どもの居場所づくりについて各館で検討し、6館で空き部屋や施設のロビーを自習室等として実施しました。		
	・ 第四次計画の期間においても、引き続き施設利用に影響のない図書コーナーやロビーといった共有スペースを中心に取り組むとともに、空き部屋の活用を検討し、子どもの居場所づくりを進めます。また、子どもたちが公民館に興味を持ち、訪れたいくなるような情報発信に努めます。		

細 施 策	④公民館の設置及び既存公民館の整備	担当課	関連指標
		地域教育支援課・中央公民館	指標2
施 策 の 内 容	・ 身近な学習施設、地域活動の拠点として公民館を整備し、地域の実情に合わせ、施設の複合化等を検討していきます。 ・ 地域の学習拠点としての機能を発揮するため、公民館施設の修繕や施設設備の更新を行い、誰もが利用しやすい快適な施設環境を提供します。		
令和7年度の主な実績	【中央公民館】 ・ 川越市北公民館エレベーター改修工事設計業務委託 ・ 川越市さわやか活動館冷暖房設備改修工事 ・ 川越市山田市民センター外壁等改修工事 ・ 修繕実施件数 46件（要望件数 89件 実施率51.6%）		
現 状 ・ 課 題	現状 【地域教育支援課】 ・ 公民館の整備については、地域の実情や市の財政状況を勘案しながら進めておりますが、進展はありません。 【中央公民館】 ・ 川越市さわやか活動館の大規模な空調工事1件と川越市山田市民センターの外壁・軒天工事1件を実施しました。		
	課題 【中央公民館】 ・ 施設の老朽化が進んでおり、限られた財源で突発修繕に対応しながら計画的な修繕を進めていく必要があります。		
今後について	【地域教育支援課】 ・ 公民館の設置については、社会状況の変化を見極めつつ、地域の人口や周辺の公共施設の設置状況を考慮して検討します。 【中央公民館】 ・ 第三次計画の期間においては、大規模な空調改修工事を3件（伊勢原公民館、霞ヶ関公民館、さわやか活動館）等を実施しました。 ・ 第四次計画の期間においても、公民館施設の修繕や施設整備の更新を行い、誰もが利用しやすい快適な施設環境の提供を図ります。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進
 【施策の柱】 (2)市立図書館の充実

細 施 策	①図書館サービスの充実	担当課	関連指標
		中央図書館	指標3
施 策 の 内 容	・地域の情報拠点として、これまで以上に図書館サービスの向上を図る取組を推進します。また、図書館利用に困難がある人に配慮した図書館サービスを行い周知に努めます。 ・市民の多様な要望に応えるために、各分野の資料の収集に努め、地域資料を整備します。 ・地域に関する情報提供サービスの事例を公開し、貴重な郷土資料の有効活用を図ります。 ・いつでもどこでも利用可能な電子書籍の拡充や情報のデジタル化を推進します。 ・近隣市町との図書館相互・広域利用及び大学や市立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校図書室等との連携を図ります。 ・児童生徒の調べ学習及び読書活動推進等に向け、市立図書館から学校への図書貸出を推進します。		
令和7年度の主な実績	・蔵書数4館合計 888,315点 ・デジタルアーカイブのコンテンツ数 30点 ・図書・雑誌・視聴覚資料等の貸出 1,245,328冊 ・障害者等への郵送貸出サービス 図書等 74点 ・電子書籍 貸出延べ回数 18,514回、登録者数 61,001名 ・情報提供サービスの事例公開件数（レファレンス協同データベース） 7件 ・情報提供サービス 5,897件（中央） ・相互貸借 貸出冊数 4,305冊、借受冊数 8,135冊 ・川越市民の相互・広域利用貸出冊数 242,743冊 ・学校への図書団体貸出 小学校 4,202冊、中学校 912冊、高校 220冊		
現 状 ・ 課 題	現状 ・川越市立図書館資料収集方針に基づき、市民の要望に沿った資料の収集に努めています。 ・近隣市町図書館との相互貸借を行い、市立図書館に所蔵が無い資料も利用者に提供しています。 課題 ・市民へのアンケート結果では「図書館資料の充実」の要望が多く寄せられています。 ・電子書籍の充実や郵送貸出サービスなど、特に非来館型サービスへの要望が多様化していることから、図書館サービスの充実に取り組む必要があります。		
今後について	・第三次計画の期間においては、多様化する利用者からの要望に応えるため、各分野の資料の収集や電子書籍の充実など各種図書館サービスの充実に取り組んできました。 ・第四次計画の期間においても、引き続き市民の要望に応えられるよう資料の充実に努めるとともに、適切な資料管理を行うことで蔵書冊数に対する新規受入冊数の割合の向上を図ります。また、デジタルアーカイブの充実や情報提供サービス事例公開に引き続き努めるほか、非来館型サービスの普及に努め、図書館サービスの充実に取り組むことで利用促進を図ります。		

細 施 策	②図書館を利用した学習活動の推進	担当課	関連指標
		中央図書館	指標4
施 策 の 内 容	・市民の多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を推進します。 ・読み聞かせボランティアや関係機関と連携し、子どもが読書に親しむ環境づくりに努めます。 ・図書や図書館への興味・関心を持たせるため、市立図書館職員の学級訪問等を通じて、読書活動の推進に努めます。 ・小・中学生に薦めたい図書のリーフレットを作成し、児童生徒が読書に親しむ環境の充実に努めます。		
令和7年度の主な実績	・講座及び展示等（郷土資料解題講座、映画会、各種おはなし会など） 1,048回開催 ・小学校3年生に対し、学級訪問及び学級招待を実施（32校、91学級、2,655名参加） ・小学校1年生に対し、学級訪問を実施（10校、26学級、789名参加） ・推薦図書を掲載したリーフレット配布 小学生用 4回、中学生用 1回		
現 状 ・ 課 題	現状 ・読み聞かせボランティアや関係機関と連携しておはなし会などの事業を実施しています。 ・学級訪問及び学級招待を実施し、学習活動を推進しています。 ・推薦図書を掲載したリーフレットを配布し、図書館ホームページ等で周知を行っています。 課題 ・関係各課、地域及び関係機関などと連携し、学習活動を推進する必要があります。 ・利用率が低い中学生だけでなく、市民に多様な学習機会を提供するため、図書館利用の方策を検討する必要があります。		
今後について	・第三次計画の期間においては、郷土資料解題講座、映画会、児童向け事業及び関係機関と連携した展示等、市民の多様な学習活動を支援しました。 ・第四次計画の期間においても、引き続き関係各課、地域及び関係機関などと連携し、市民の学習活動の支援を推進します。また、児童向け事業の充実を図る取組や、学校への団体貸出の活用を促す働きかけなど、学校との連携、学習活動の支援及び図書館利用の促進に取り組めます。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進
 【施策の柱】 (2) 市立図書館の充実

細 施 策	③図書館施設運営整備事業の推進	担当課	関連指標
		中央図書館	指標4
施 策 の 内 容	・時代のニーズに応じた図書館運営方法について検討を進めます。 ・老朽化した施設・設備の整備、改修を計画的に実施します。		
令和7年度の主な実績	・令和8年3月川越市立図書館運営方針を改訂 ・中央図書館外部改修工事(令和7年度・令和8年度の2箇年計画のうち令和7年度分) ・中央図書館直流電源装置等改修工事		
現 状 ・ 課 題	現状 ・中央図書館については建設から42年、西図書館及び川越駅東口図書館については建設から24年経過しており、給排水設備など各種設備の計画的な改修を進めています。 課題 ・西図書館及び高階図書館を含めた全4図書館を対象とした計画的な改修を進める必要があります。		
今後について	・第三次計画の期間においては、老朽化した施設・設備の整備、改修を実施しました。 ・第四次計画の期間においても、社会の変化に応じた図書館運営方法について検討を進めるとともに、老朽化した施設・設備の整備、改修を計画的に行います。施設調査の結果、改修が必要なクラッセ川越については、工事内容、着手順序等を整理するとともに、他の図書館についても、改修計画策定に向けた検討を庁内関係課の協力を得て進めます。		

【施策の柱】 (3) 市立博物館の充実

細 施 策	①展示機能の充実	担当課	関連指標
		博物館	指標5
施 策 の 内 容	・多様化する市民の学習活動への対応と観光に貢献する施設として、常設展示の充実を図ります。 ・新たな研究成果を反映させるとともに、学びやすい展示など、魅力的・効果的な企画や展示機能の充実に努め、市民はもとより市外からの来館者の増加を図ります。		
令和7年度の主な実績	・令和6年度館蔵資料公開「川越ゆかりの美術工芸品」 入館者数6,557名(令和7年度分) ・第52回企画展「川越の地口行灯ー力齋とろうろ絵の世界ふたたびー」 入館者数12,183名 ・令和7年度埼玉県名刀展「備前伝の刀剣」 入館者数8,466名 ・第33回収蔵品展「石でつくった!」 入館者数1,240名(令和7年度分) ・年間入館者数67,365名(前年度比96%) ・展示や関連イベント等の情報を随時SNS発信 ・川越シャトルのデジタルサイネージへ展示情報の掲載 ・「職人コーナー」年1回、「ふるさとのもつりコーナー」年4回、「受付協展示ケース」年6回、常設展示の一部資料の展示替えを実施 ・常設展示室のキャプションを一部リニューアル		
現 状 ・ 課 題	現状 ・令和7年度の博物館の入館者数は、令和6年度から約4%減少しました。これは、館の実情に合わせて企画展の実施回数を年4回から3回に減らしたことが要因と考えられますが、年3回の展示で見込まれた入館者数6万人(前年比14%減)は大きく上回っており、アンケート等からSNSの活用が来館者数に寄与していたと考えられます。 課題 ・博物館の展示への関心や理解の向上を図るため、来館者のニーズや常設展示の更新について調査・研究する必要があります。		
今後について	・第三次計画の期間においては、多様化する市民の学習活動への対応と観光に貢献する施設として、常設展示の充実を図るとともに、魅力的・効果的な企画や展示機能の充実に努め、コロナ禍で減少した入館者数を回復することができました。 ・第四次計画の期間においても、引き続き郷土資料の収集・保存に努め、展示資料への活用と常設展の充実を図ります。 ・より魅力的・効果的な展示を実施すべく、市民のニーズの把握に努めます。 ・展示・館蔵資料の情報をホームページやSNSを通じて発信することについて、引き続き検討するとともに、デジタルアーカイブの整備を目指してコンテンツの制作を進めます。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進
 【施策の柱】 (3)市立博物館の充実

細 施 策	②郷土資料の収集・保存	担当課	関連指標
		博物館	指標5
施 策 の 内 容	・川越の歴史と文化に係る資料の収集・整理に努めるとともに、その保存と活用を図ります。 ・資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足しているため、効率的な収蔵保管に努めるとともに、新たな収蔵施設の確保を検討します。		
令和7年度の主な実績	・寄贈資料1,180点 購入資料4点（館蔵資料の累計43,839点） ・資料・物品の整理、点検作業の実施 ・資料整理計画に基づく資料整理の実施（整理点数7,965点）		
現 状 ・ 課 題	現状 ・郷土資料の収集・整理に当たっては、限られた収蔵スペースを効率的に運用するため、資料整理マニュアルに基づき整理作業を継続的に実施しています。 ・館外収蔵スペースについては、旧あけぼの・ひかり児童園、旧吉田学校給食センター、砂中学校金工室を使用していますが、いずれも温湿度管理等、資料の適切な保存が難しい環境であり、収納面積も狭いため、暫定的な利用に留まっています。 ・資料の効率的な管理を行うため、新たに文書保管集配業務委託の活用を開始しました。		
	課題 ・展示、調査研究業務などと並行しての膨大な資料の整理作業は長期化が見込まれ、引き続き計画的な実施が求められています。 ・暫定的に利用している収蔵施設は資料の適切な保存が難しい環境であり、収納面積も狭いため、恒常的な収蔵施設の確保について引き続き検討が必要です。		
今後について	・第三次計画の期間においては、資料整理マニュアルに基づいた整理作業を継続的に実施し、収蔵スペースの効率的な運用を行ったため、館内収蔵庫の環境は改善に向かっていきます。 ・館外収蔵スペースについては随時検討を進めていますが、適切な保管スペースと保存環境の確保については引き続き検討していくことが必要です。 ・第四次計画の期間においても、引き続き貴重な郷土の歴史資料について系統的な収集を行うとともに、館内の収蔵環境が良好に保てるよう資料整理計画を着実に進め、また、収集後の資料の点検作業を継続的に実施することで、物品・資料の効率的な収納を進めます。 ・恒常的かつ資料の保存に適切な収蔵スペースの確保に向け、市所有の未活用施設等の利用を検討します。		

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	担当課	関連指標
		博物館	指標5
施 策 の 内 容	・社会教育施設として、幅広い世代の学習要求に応えられる多くの事業を展開するとともに積極的な情報発信を行い、市民の利用機会の向上を図ります。 ・児童生徒が川越の歴史や文化等に興味や関心を持つことができる学習活動の更なる充実を図り、学校教育との連携を進めます。 その他の関連指標：指標6		
令和7年度の主な実績	・講座教室等の事業開催件数42件、参加者数1,826名（新規事業1件） （大人向け事業 参加者数1,383名、こども向け事業 参加者数443名） ・教育活動の一環として博物館を利用した学校数 延べ299校・参加者数25,490名 （市内延べ103校・参加者数9,151名、市外延べ196校・参加者数16,339名） ・出前授業の実施数 市内小中学校101学級 ・第33回「むかしの勉強・むかしの遊び」展 入館者数11,963名		
現 状 ・ 課 題	現状 ・講座教室等の事業開催件数は、集計方法を見直すとともに、令和6年度から1件増加し42件となりました。 ・学校利用数は、令和6年度の337校から38校減少し299校となりました。 ・参加申込み方法を電話での先着順形式から電子申請の抽選に改善しました。		
	課題 ・学校利用の件数は減少しているため、今後の取組には改善が必要です。		
今後について	・第三次計画の期間においては、講座教室の事業を増やし、また参加申込み方法を電子申請に変更することで市民の利用できる機会の向上に努めました。 ・第四次計画の期間においても、引き続きより多くの市民が参加できる講座・教室等の企画・実施に取り組み、学校利用については、受入体制の構築や周知強化に努めます。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進
 【施策の柱】 (3)市立博物館の充実

細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備	担当課	関連指標
		博物館	指標5
施 策 の 内 容	・ 社会教育施設及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館の整備を図るとともに、蔵造り資料館の耐震化を着実に進めます。		
令和7年度の主な実績	・ 非常照明設備改修工事、特別収蔵庫空調設備更新工事を実施（博物館） ・ 常設展示室映像音響機器修繕、可動式展示ケース内照明交換修繕、応接室空調交換修繕、屋内消火栓設備呼水槽等交換修繕、屋内消火栓ホース等交換修繕、身障者誘導ブロック修繕、コンデンサ交換修繕等を実施（博物館） ・ 廊下非常用照明器具修繕、屋内消火栓始動器交換修繕等を実施（川越城本丸御殿） ・ 防災設備等の設備保守点検を実施（博物館・川越城本丸御殿） ・ 蔵造り資料館店蔵耐震化工事を実施（令和5年度～令和8年度継続事業）（蔵造り資料館）		
現 状 ・ 課 題	現状 ・ 老朽化した施設設備の改修を進めています。展示室内装、空調機器、照明器具、資料運搬用エレベーター等施設設備が未改修です。 ・ 蔵造り資料館店蔵の耐震化工事を実施するとともに、工事見学会及びSNS等の発信を行い、工事の進捗状況の紹介と耐震化事業の周知に努めました。		
	課題 ・ 博物館の施設設備の改修を進める必要があります。 ・ 蔵造り資料館耐震化事業は長期化が見込まれることから段階的实施について検討を進める必要があります。		
今後について	・ 第三次計画の期間においては、博物館等の施設設備の更新・改修を行うとともに、蔵造り資料館店蔵の耐震化工事に着手しました。 ・ 第四次計画の期間においても、引き続き博物館等の施設設備の更新・改修を行い、機能の維持を目指します。蔵造り資料館耐震化事業についても引き続き着実に進めていきます。		

【施策の柱】 (4)人権教育の推進

【施策の柱】		【施策の柱】		【施策の柱】	
細 施 策	①人権教育の充実	担当課		関連指標	
		地域教育支援課		—	
施 策 の 内 容	・ 様々な人権課題に対応した人権教育の充実を図ります。 ・ 人権問題を広く市民に考えてもらうため、各種人権啓発資料の作成・活用を図ります。 ・ 学校・家庭・地域と連携した各種研修会を実施し、人権課題について正しい理解と認識を育むよう努めます。 ・ 児童生徒の心身の成長過程に応じて、人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育を計画的に推進します。				
令和7年度の 主 な 実 績	・ 人権啓発資料作成 人権カレンダー30,000部 ・ 人推協だより『人権かわごえ』（年2回）各30,000部発行 ・ 人権作品集『あけぼの』を2,600部発行、『あけぼの』を活用した授業実践 ・ 人権教育推進事業 委嘱公民館5館・委嘱校10校 ・ 人権教育推進事業における実践や授業研究会の記録等を『川越市の人権教育』（人権教育実践集録）としてまとめ、200部発行 ・ 人権絵画展「いのち・こころを大切にする絵画展」を市立美術館で開催 3日間293名				
成 果 実 績	項目名（単位）		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	人権作文・標語・絵画応募総数（点）		724	678	626
現 状 ・ 課 題	現状				
	・ 人権絵画の出品数は減少傾向にありますが、人権啓発資料や人権教育に関わる成果物を作成し、市民に広く配布・活用することで、同和問題をはじめとする様々な人権課題に対応した人権教育を推進することができました。				
今 後 に つ い て	課題				
	・ 本施策の取組により、市民に人権問題を考えてもらうきっかけとなりました。一方で、時代の変化に伴い様々な人権課題も存在しています。家庭・地域・学校が一体となり、市民一人ひとりが人権課題を正しく理解し、適切に対処できる力の涵養を目指します。				
今 後 に つ い て	・ 第三次計画の期間においては、人権教育推進事業や人権啓発資料の作成の取組により、市民の様々な人権課題に対する関心を高めることができました。				
	・ 第四次計画の期間においても、当課で所管する川越市人権教育推進協議会の事業を通じて、家庭・地域・学校との連携をすることで、市民の人権問題に対する意識を高めていきます。また教職員への研修や啓発資料作成を通じて、児童生徒に対して一人ひとりを大切にする教育の実践を行っていきます。本施策では令和12年度までに研修会・報告会に対する満足度を85%になるように、施策内容の検討・改善を行っていきます。				

【施策】 8 生涯学習活動の推進

【施策の柱】 (4)人権教育の推進

細 施 策	②人権教育指導者の養成	担当課	関連指標	
		地域教育支援課	—	
施 策 の 内 容	・ 様々な人権課題の解決を目指し、市民一人ひとりが正しい認識を深めるため、人権教育指導者養成に努めます。 ・ 様々な人権課題を網羅的に扱うよう、計画的に教職員研修を行います。			
令和7年度の主な実績	・ 公民館における人権教育講座の実施 市内14公民館 28講座 参加者1,089名 ・ 人権教育指導者養成講座を川越市小堤集会所協力委員会で実施 4回 参加者63名 ・ 川越市小・中学校教職員年次研修 2回			
成 果 実 績	項目名（単位）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	公民館における人権教育指導者養成講座参加者数（名）	1,441	1,123	1,089
現 状 ・ 課 題	現状			
	・ 講座への参加者数は減少傾向にありますが、市内各公民館や小堤集会所において、人権教育講座や人権教育指導者養成講座を、概ね計画通りに実施することができました。教職員研修も予定通り実施することができました。			
今 後 に つ い て	課題			
	・ 公民館の在り方の見直しなどの影響により、人権教育講座の事業を実施する主体の確保が課題となっており、人権教育講座の在り方を継続して見直す必要があります。			
今 後 に つ い て	・ 第三次計画の期間においては、人権教育講座・指導者養成講座・教職員研修で、人権教育指導者の育成を図ることができました。			
	・ 第四次計画の期間においては、講座の実施方法について、複数の公民館による合同開催や一つの講座に対する参加対象者を拡大させることで、より多くの市民が人権に対する正しい理解を深められるようにします。また、教職員に向けての研修では、教職員が様々な人権課題について児童生徒に正しく理解させ適切に対処できる力を育成できるようにします。			

細 施 策	③関係機関・団体等との連携	担当課	関連指標	
		地域教育支援課	—	
施 策 の 内 容	・ 関係機関・団体等と連携した教育活動を推進します。 ・ 自治会等と連携した教育活動を推進し、学習の場としての集会所事業を推進します。			
令和7年度の 主 な 実 績	・ 川越市小堤集会所習字教室 24回 参加者474名 ・ 川越市小堤集会所事業 フレンドスクール 3回 157名 成人・高齢者講座 4回 79名			
成 果 実 績	項目名（単位）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	ふれあいまつり参加者数（名）	161	128	108
現 状 ・ 課 題	現状 ・ 小堤集会所事業について、天候不良が重なり中止になる回がありましたが、計画通りに実施することができました。特に、フレンドスクールでは、異文化交流体験や外国の人権状況などを学ぶミャンマー料理親子教室を実施することができました。また、集会所事業の集大成である集会所ふれあいまつりについても、計画通り実施することができました。			
	課題 ・ 集会所事業の担い手や参加者の減少が見られます。持続可能な集会所事業の在り方や内容について、検討していく必要があります。			
今後について	・ 第三次計画の期間においては、小堤集会所事業によって関係機関や団体・自治会等と連携した教育活動を実施することができました。 ・ 第四次計画の期間においては、集会所事業の在り方を継続して見直すとともに、自治会や育成会等との情報交換をより一層図り、各種講座一つ一つの目的や内容について、再検討・再構築していきます。また募集方法や対象範囲の検討を行うことで、参加者数の増加を目指していきます。			